

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 ●取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

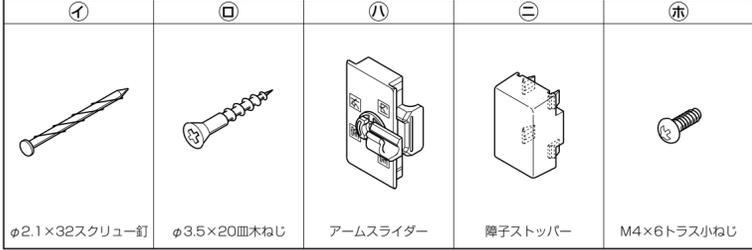
- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・窓台は45×100mm以上、間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
- ・開口部を付け枠等でふさぐ(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。
- ・指定のスクルー釘・木ねじで枠を固定してください。
- 障子が勢いよく開いて、けが・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- ・障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
- ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

■施工上のお願い

●バルンサー部品箱は別売りです。

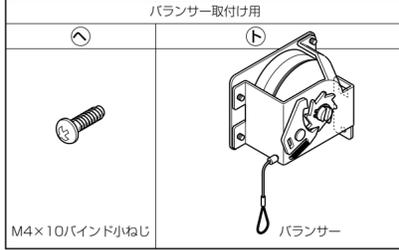
■取付け部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑥は、部品・ねじの種類を示します。



■バルンサー部品箱(別売り)一覧表

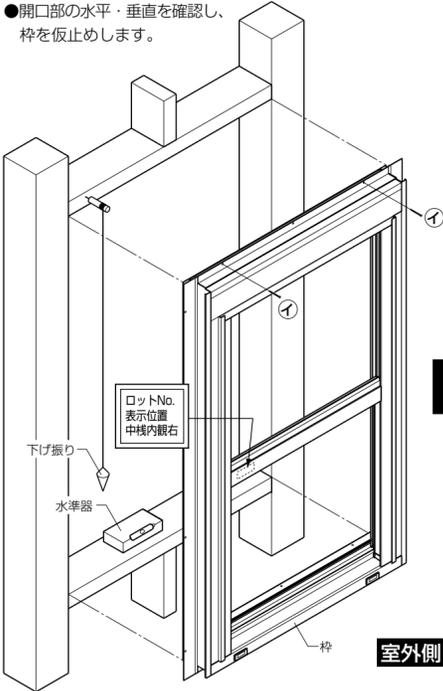
※本文図中の⑦・⑧は、部品・ねじの種類を示します。



■取付け順序

1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

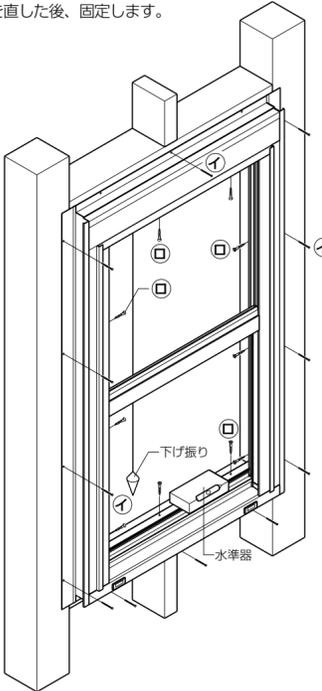
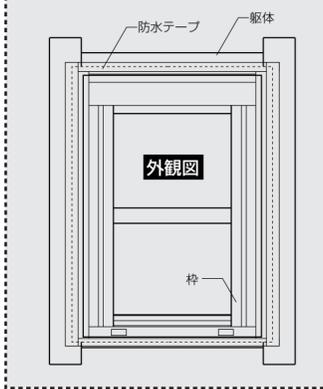


2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※固定後、必ずバルンサーの調整を行ってください。
- ※枠の水平・垂直を正確に出して取り付けてください。開閉不良の原因になることがあります。
- ※上枠カバー材が取り付けられている場合は、一旦外してから③の皿木ねじを固定してください。
- (7)上枠カバー材の取付けを参照ください。

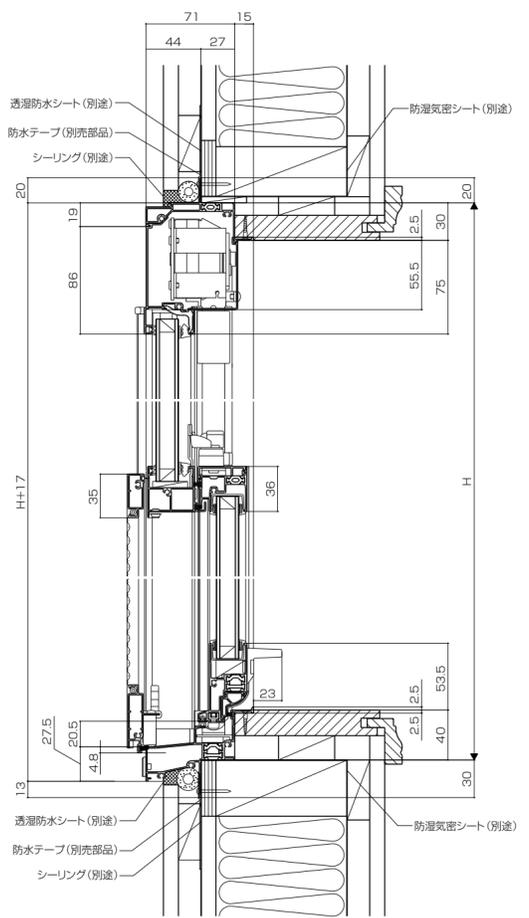
▲注意

●本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

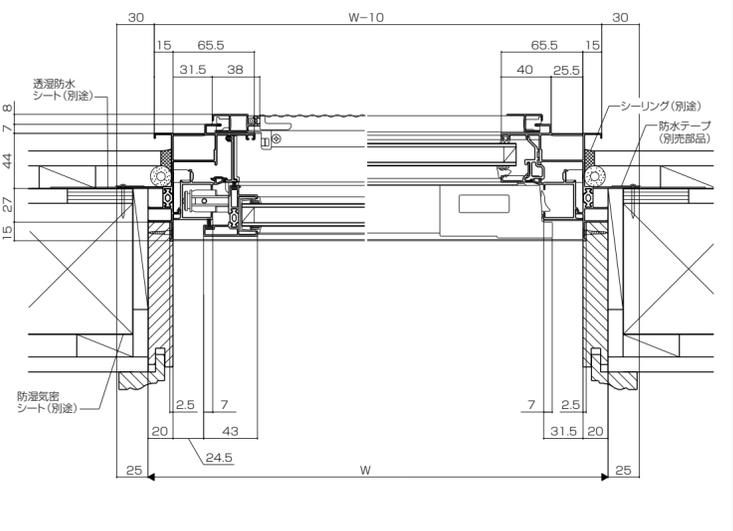


■納まり図

●縦断面図



●横断面図

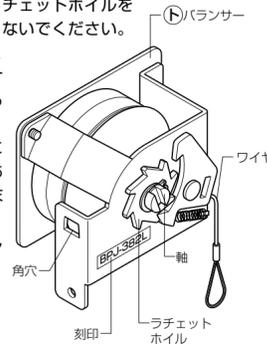


3 バルンサーの取付け

■お願い

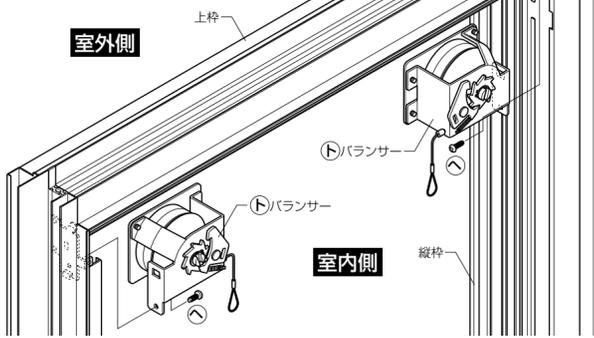
※障子建込み前にバルンサーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしてはいけません。障子が建て込めなくなったり、バルンサーが破損したりすることがあります。

※バルンサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L(内観左)・R(内観右)を確認してください。

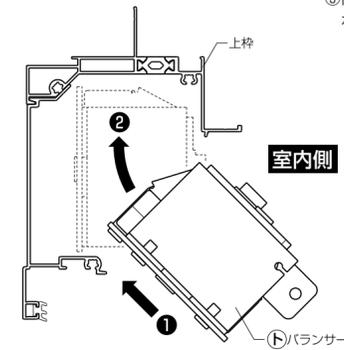


※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバルンサーが異なります。取付け前にバルンサーの機種を確認してください。

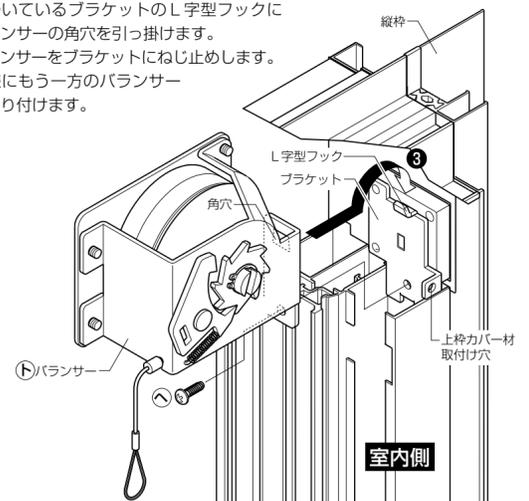
※バルンサーは、枠組立て前・枠組立て後・FIX部のガラス入れ後のいずれでも縦枠に取り付けることができます。



- ①バルンサーを45°傾けて、上枠に差し込みます。
- ②バルンサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。



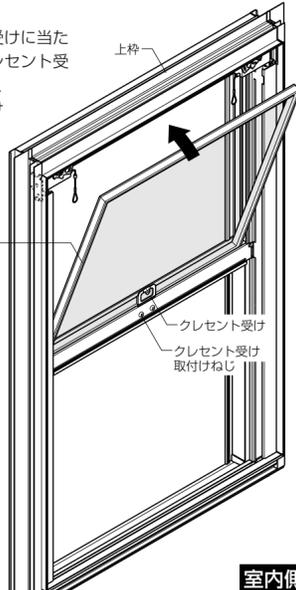
- ③バルンサーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバルンサーの角穴を引っ掛けます。
- ④バルンサーをブラケットにねじ止めします。
- ⑤同様にもう一方のバルンサーを取り付けます。



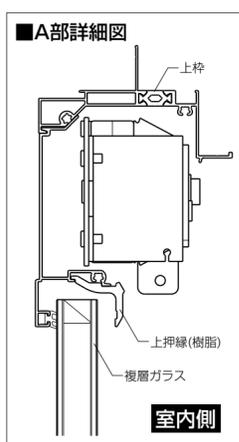
4 FIX部のガラス入れ

①ガラスを入れます。

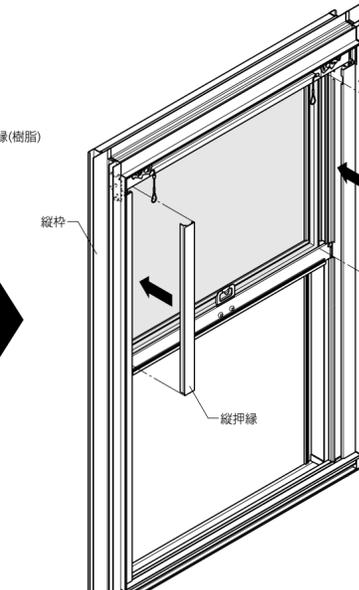
※ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじをゆるめてください。(クレセント受けは外さないでください。)



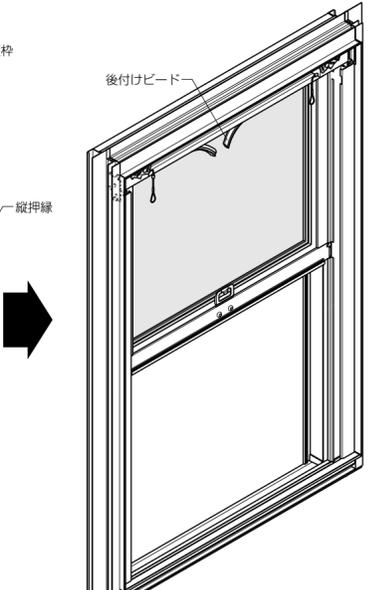
②上押線を取り付けます。



③縦押線を取り付けます。



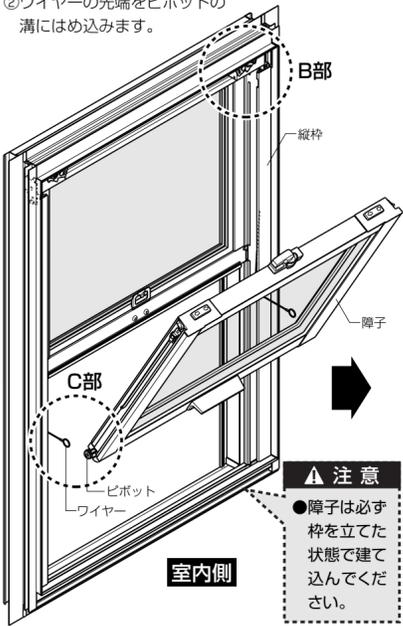
④後付けビードを回します。



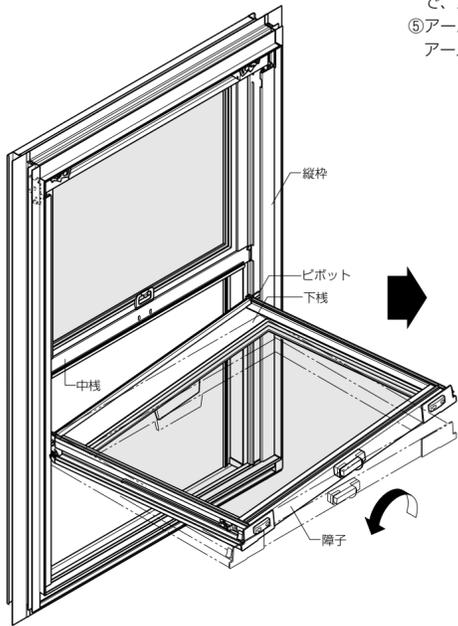
■取付け順序

3 障子の建込み

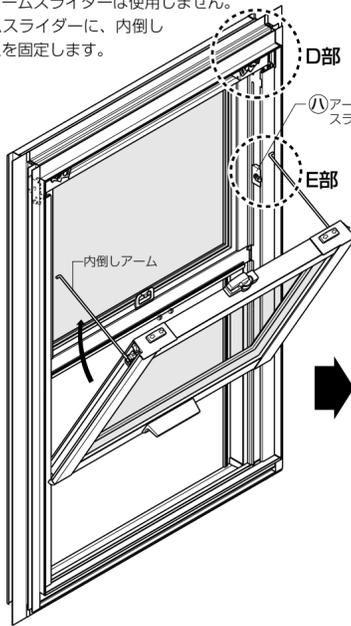
- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ② ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。



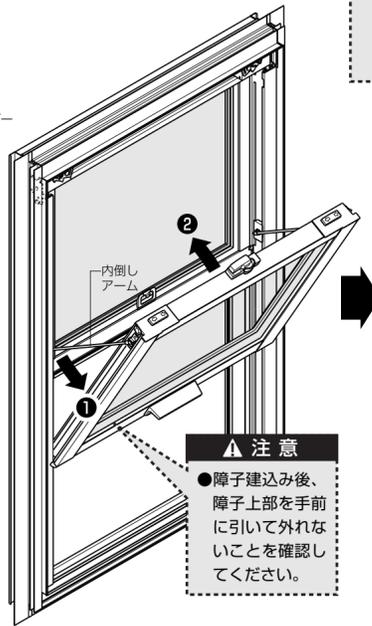
- ③ 障子の下線を中横より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差し込みます。



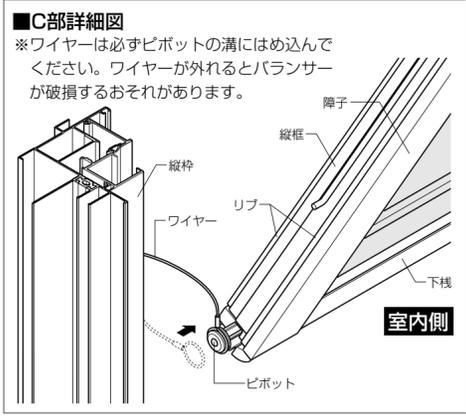
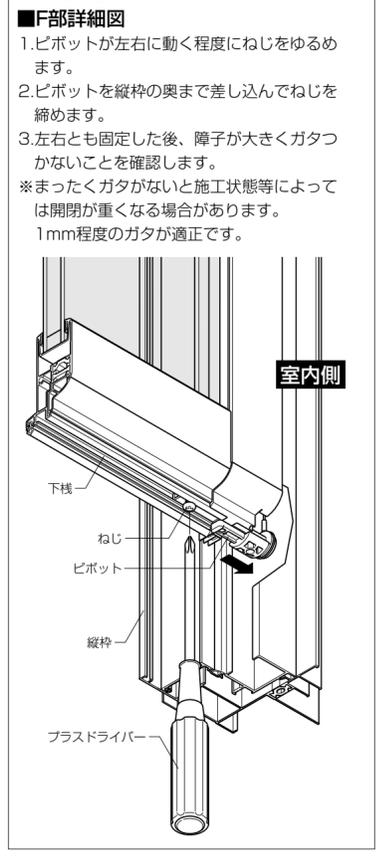
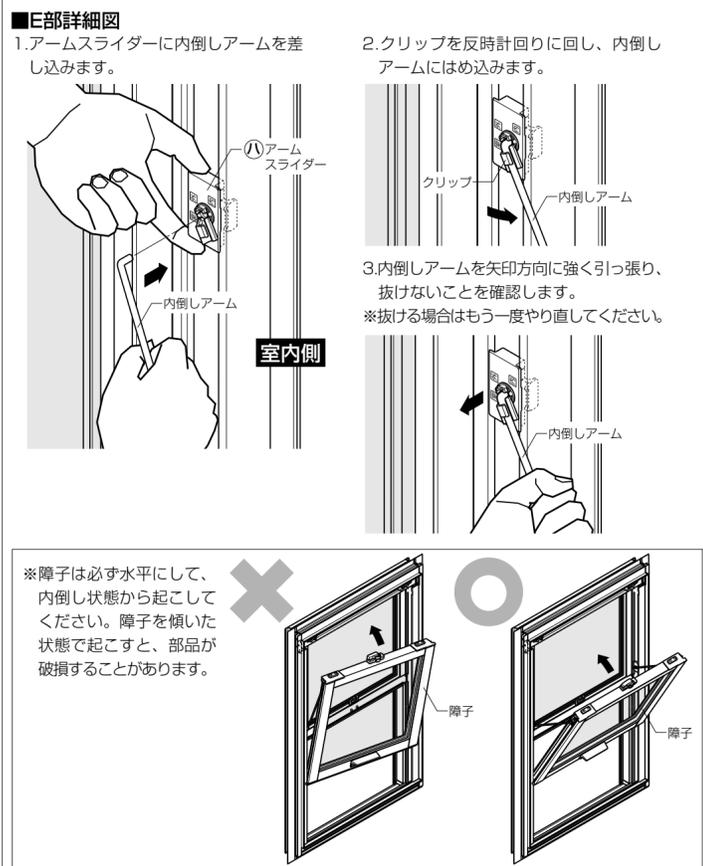
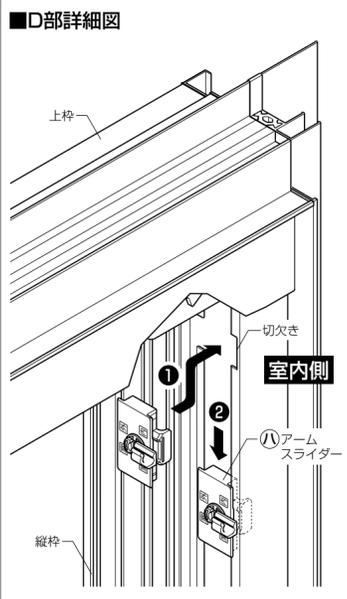
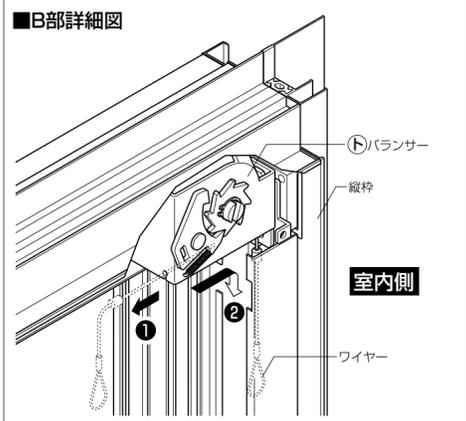
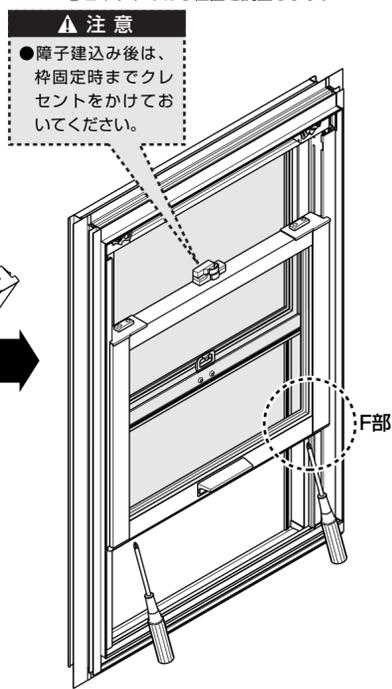
- ④ アームスライダーの「室内」表示を室内側に向け、縦枠の切欠きから差し込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていないので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤ アームスライダーに、内倒しアームを固定します。



- ⑥ 内倒しアームを押し下げながら(1)、障子を起し、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)

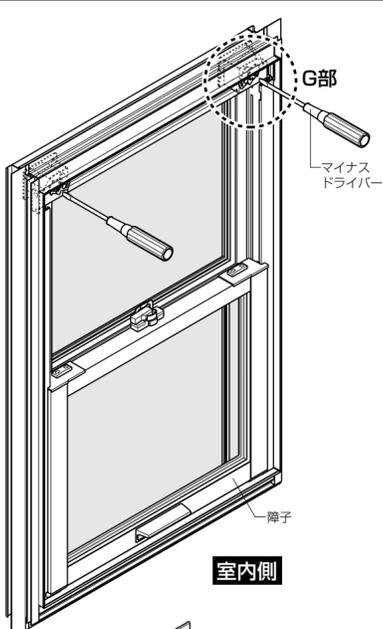


- ⑦ ピボットのねじ位置を調整します。



6 バランサーの調整

- ※ バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ① 障子を一番下に下げます。
- ② 障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
※ 左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



7 上枠カバー材の取付け

- ① 上枠カバー材を図の向きで上枠の突起に押し当てます。(1)
※ 左右の角度を傷つけないようにしてください。
- ② そのまま90°回転させます。(2)
- ③ 矢印部を押し上げて上枠カバー材をたわませながら(3)、上押縁にはめ込みます。(4)

